

# あっという間に家計費を【1割】削減する10の方法

新潟資産家倶楽部  
ゆるふわFP西澤

## 【見直しおすすめランキング】

	項 目	見直し効果
①	自動車ローンの見直し	★
②	光回線（インターネット）の見直し	★
③	意味のないサブスクをやめる	★★
④	読まない新聞をやめる	★★
⑤	電力会社の見直し	★★★
⑥	損害保険の見直し	★★★★
⑦	車をやめる	★★★★★
⑧	住宅ローンの見直し	★★★★★
⑨	携帯電話の見直し	★★★★★★
⑩	生命保険の見直し	★★★★★★

## 【解説】

### ① 自動車ローンの見直し★

自動車ローンを組んでいる方は多いと思います。毎月いくら払っているか分からない人はあまりいないと思いますが、契約の内容をしっかりと覚えていますか？（金利、支払い総額、ローンの年数など）最近では残価設定型ローンを利用している方も多いですが、これは月々の支払いを抑えることができ嬉しい反面、残価部分に常に金利がかかるため、通常のローンより利息を多く支払うという側面があります。

お金を貯める鉄則は、無駄を省くことにあります。ローンの利息は無駄以外の何物でもありませんので、車の購入を検討している方はローンプランと利息には注意してください。また、現在ローンを組んでいる場合は、より金利の低い銀行や信販会社での借り換えが有効です。

また、今の支払いがキツイという場合は、借り換えの際に支払い期間を長くすることで月の負担を下げるという方法もあります。ただしこの方法は、余程の低金利でない限り支払う利息がさらに増えますのでご注意ください。

② 光回線（インターネット）見直し★

かなり昔に契約して、そのままの人の光回線の料金は、インターネット回線業者料金＋プロバイダ業者料金という料金体系になっている場合があります。しかし、現在ではインターネット回線業者とプロバイダ業者はまとめた方がお得！というのが主流になっています。インターネット回線業者はプロバイダ業者も兼ねている所も多いので、一度料金を算出して比較してみてください。さらに最近は、キャリアのスマートフォンとセットで契約すれば、毎月の利用料金から割引が適用される場合があります。

例）ソフトバンク、ワイモバイルユーザーはソフトバンク光とセットで契約すれば割引が適用される。

したがって、場合によっては携帯電話の見直しも含め、検討するとより効果が出ると言えます。

また、単身者や自分以外は家でネットを使わず、自宅の外でも頻繁にネットを使うという方の場合は、固定の光回線ではなく、ポケット wi-fi などに替えるのも一つの方法です。

③ 意味のないサブスクをやめる★★

初年度無料で契約したサービスで、今は大して利用していないのにズーとほったらかしの物ないですか？

例えば、Yahoo プレミアム会員、Amazon プライム会員、動画配信サービス、携帯の訳分からんオプションなど。

よ〜く探してみると、2〜3個あつたりするものです。案外月に1,000円くらいは払っていたりしますので一度チェックしてみてください。

④ 読まない新聞をやめる★★

これも③と同じです。大して読まないのに何となく取っているようなら解約しましょう。ネットでも十分ニュースは見れますので。

⑤ 電力会社の見直し★★★★

2016年4月から「電力自由化」が始まりました。それまでは地域の大手電力会社が独占的に販売し、電力をどこで買うのか選ぶことはできませんでしたが、2016年4月からは、大手電力会社による独占体制が崩れ、電気の契約先を自由に選べるようになりました。これにより、電力会社間では競争が生まれ、従来よりも電気料金の安いプランや、これまでになかった新しいプランを発表して

います。また、料金が安いだけでなく、サービスが充実している電力会社もあり、自分に合った電力会社・プランを選べるようになりました。

ただ、実際には「知らない電力会社に変えるのは不安」とか、「切り換えが難しそう」と尻込みしている方も多いと思います。

私もその一人でしたが、昨年切り替えたところ、約1割電気代が下がりました。もちろん不便なこととは何一つなく、むしろ電気メーターをスマートメーターに替えてもらえたお蔭で、日々の電気使用量をリアルタイムで確認できるようになり、節約意識も高まりました。

#### ⑥ 損害保険の見直し★★★

損害保険と一口に言いましても、一般のご家庭では自動車保険、自転車保険、火災保険、地震保険、生活賠償保険、損害保険会社の傷害保険など様々です。

特に自動車保険は内容を精査すると無駄な掛け方をしているケースが多いので、毎年内容も見ずに「同じ内容で」と更新している方は要注意です。

また、火災保険も家を建てた時に住宅会社に勧められたままの人は要注意です。自動車保険並みに各社で保険料は違いますので一度チェックしてください。

#### ⑦ 車をやめる★★★★

これは抵抗ある方も多いと思いますし、状況的に無理な方もいるかと思いますが、案外やってみると大して困らなかった。というのが私の実体験の感想です。

例えば、ご夫婦と子供2人のご家族で、ミニバンと軽自動車を所有しているとします。

旦那さんは通勤に車を使わず、平日は奥さんがパートに行く時と子供の送迎に軽自動車を使うだけ。反対に土日は家族で出かけるときにミニバンを使い、軽自動車は使わない。

これはよくあるケースだと思います。

この場合、奥さんがミニバンを使えば、軽自動車はほぼいらなくなります。

奥さんが「大きい車は乗りたくない」とか、「たまに夫婦が別々に車を使うことがあるからダメ」とか言っているとキリがありませんので、どうしたら1台でこなせるかを考えた方がここでは建設的です。

最初から1台しかなければ、夫婦の予定も重ならないように段取りするでしょうし、どうしても駄目ならタクシーやレンタカー、カーシェアリングを使った方が大抵の場合、安上がりです。

そもそも軽自動車であっても所有しているだけで、自動車税、自動車重量税、自賠責保険、自動車保険、車検代がかかり、乗るほどにガソリン代、タイヤなどの消耗品や整備代がかかるので、どんなに安く見積もっても年間12万円、月にして1万円の維

持費がかかっています。言い換えれば、毎月1万円タクシーを使ったとしても、車両の購入費用が発生していない分安く、さらには安全です。これはやってみるとかなり効果が出る方法です。

⑧ 住宅ローンの見直し★★★★★

長引く低金利の影響で、ほとんどのの方が借り入れ当初の金利より、現在の金利の方が低くなっているのではないのでしょうか。住宅ローンは長期の借り入れになっているケースも多いので、人によっては金利が1%変わるだけで、支払い総額が数百万円変わるケースもあります。一般に借り換えをして得をするといわれるのは「ローン残高が1,000万円以上」「残年数10年以上」の人とされています。この条件に当てはまり、1%程度金利が安くなりそうな方は検討してみる価値はあります。

ちなみに私は見直しして、月の支払いが約1万円下がりました。

⑨ 携帯電話の見直し★★★★★

いわゆる「格安スマホ」をお勧めします。

MMD研究所「2019年スマートフォンの料金に関する調査」（2019年2月）の調査結果から、大手携帯電話会社ユーザーの平均月額料金は8,451円に対し、格安スマホユーザーの平均月額料金は2,753円という結果が出ています。

実際、私も妻と二人分をdocomoからワイモバイルに切り替えたところ、今まで18,000円/月ほどかかっていた携帯代がなんと、2,600円/月にまで下がりました。これには驚きました！！

⑩ 生命保険の見直し★★★★★

やはり何といたしましても、生命保険の見直しは必須です。

皆さんは買い物をするときに値札は見てますか？

ほとんどの方はちゃんと値札を確認してから買いますよね。

では、生命保険を契約した時にちゃんと値札（支払い総額）を確認しましたか？

日本人は平均で生命保険に2000万円支払っていると言われています。これが本当に必要な保険だったり、元が取れるものであればいいのですが、そうでない方が大半です。

1円たりとも無駄のない保険の掛け方で家計の負担を減らしてください。

いかがでしたでしょうか？ 10個全部やれば、家計費は1割と言わず、2割は削減できると思います。また、ほとんどの方法は既に私が実践済みのものですので、興味があればいつでも聞いてください。